

議 事 録 (まち協全体会資料)

団 体 名	片瀬・江の島まちづくり協議会
会 議 名	令和8年度 片瀬・江の島まちづくり協議会 第3回全体会
開 催 日 時	2026年(令和8年)6月19日(金) 18時から19時45分
開 催 場 所	片瀬市民センター ホール
出 席 者	委 員：14人(総数19人) 出席者：馬場会長、澁谷副会長、徳江副会長、上條副会長、藤原委員、小原委員、甘粕委員、塚田委員、新倉委員、堺委員、岡田委員、山岡委員、永由委員、笹岡委員 欠席者：5人 岩田委員、山本委員、宇賀神委員、新井委員、鈴木委員 事務局：7人 吉村センター長、高橋主幹、千原、星、柴田、猪俣、脇田
報 告	2 報告 (1) 前回全体会について 事前に資料は開催通知と一緒に送りましたとおり。 【確認結果】 修正なし (2) 地域団体からの情報提供等 【説明要約】 各委員より、所属団体等の活動状況について以下のとおり報告及び情報提供がなされた。 ＜花いっぱい愛好会・ガイドクラブ等＞ ・6月6日(土)に各団体が協力し、弁天橋にて花植えを実施。 ＜青少年育成協力会＞ ・「潮の子フォーラム」及び「デーキャンプ」を実施予定という報告がなされた。 ・夏季江の島周辺夜間パトロールを7月18日(土)及び8月1日(土)に実施予定という報告がなされた。 ＜生活環境協議会＞ ・子ども40名を対象としたイベント「マイクロプラスチックを使って万華鏡を作ろう」の実施を予定しているが、集客に苦慮しているため、近隣の子どもへの声掛けを依頼したい。 ・8月18日(火)のマイアミビーチショー終了後、翌19日の午前8時から清掃活動を実施する。

報 告	(3) WG開催結果報告について 【説明要約】 各ワーキンググループ（WG）より、直近の開催結果について報告がなされた。 ＜片瀬&江の島歴史文化見直しWG＞ ・6月17日にWGを開催。今年度内を目標とする江の島道案内看板の設置に向け、6月4日に現地にて設置箇所の確認を実施した。看板のデザイン（地図のメリハリ付け）、QRコードの付与による電子マップとの連動、外国人向け表記、視覚障がい者向けの音声ガイド設置等について検討を進めている。また、設置後に看板を活用した事業を今年度内に実施したい旨が報告された。 ＜生活防災を考えるWG＞ ・津波避難アートサインの設置に関し、西浜地区においては、新江ノ島水族館と調整を行い、発災時は来館者の安全確保を優先することを確認した。江の島地区においては、6月12日にはデザインを依頼する予定のアーティストである影絵師SAKURA氏と現地確認を実施し、アートの内容面について調整を行った。 ＜広報WG＞ ・6月4日にInstagramの勉強会を開催した。 ・デジタル掲示板の機能向上に関し、①公式LINEから「ふじさわ防災ナビ」へ遷移可能となった点、②「まち協小さなトピック」のタイルから公式Instagramへ遷移可能となった点の2点が報告された。 【質問・意見】 (1) Instagramに掲載される内容はどのようなものか。 (2) 公式Instagram「小さなトピック」への投稿依頼用のLINEグループを作成した。そのグループ内でまち協委員から依頼をしていただき、広報WG委員で内容を審査したうえで掲載をする。
議 題	3 議題 (1) まちづくり協議会で取り組みたい課題について 【説明要約】 事務局より資料1に基づき説明。今年度新しく取り組むべき課題について、各WGリーダーより以下のとおり説明がなされた。 ＜片瀬&江の島歴史文化見直しWG＞ ・若い世代の地域活動への参画を促すための手法について検討を進めていきたい。 ＜生活防災を考えるWG＞ ・子ども関連の防災及び防災映像の作成が課題として挙がっている。子ども関連の防災事業を実施する場合、生活防災WGのみでの対応は難しいため、協議会全体で取り組んでいきたい。まずは毎月のWG内で継続的に検討を重ね、課題を明確化した段階で青少年育成協力会等の地域団体と相談していきたい。また、防災映像の作成

議 題

については広報WGに打診して進める意向である。

＜広報WG＞

・広報WGはイベント告知や情報共有等、すべての課題に横断的に関わってくるものである。

【質問・意見】

（１）歴史文化見直しWGとして提案のあった「桜の名所を回るイベント」について、鵜沼地区で実施されたロゲイニングが参考になるのではないかな。

（２）防災動画の作成については広報WGで担当することとなった。動画作成スキルを持つ委員の協力を得て、まずはパイロット版（試作版）を作成いただき、今後の活用方法を検討したい。

（３）現在、片瀬山をテーマとした防災動画を作成中であり、これをパイロット版に代えることができる。また、避難経路を示す１～２分程度の短い動画が欲しいとの意見もあったため、７月上旬を目途に作成したい。）

（４）片瀬小学校での防災訓練に参加する中で、子どもの防災に関する困りごとを把握し、その解決に向けて動きたいと考えている。

（５）若い世代の参画を促すため、５月２３日に鵜沼地区で実施されたロゲイニングイベント（観光地や防災関連施設をチェックポイントとしたもの）を参考として情報共有する。片瀬地区でも他分野を織り交ぜたチェックポイントを設定すると良いのではないかな。

（６）ロゲイニングの参加賞（景品）の有無及びその予算はどのようになっているかな。）

（７）鵜沼地区では商店街からの協賛金により景品代（ふじキュンバッジ等）を捻出していた。）

（８）防災等をテーマにした施設内での小規模なロゲイニングであれば、ふれあいまつり内等で実施するのも面白いのではないかな。

（９）辻堂地区では防災をテーマに２週間のクイズラリー（クイズを回っていただき後日採点）を実施していた。大規模なロゲイニングとする場合は協賛金が必要となるため、商店会に協賛の打診をお願いしたい。

（１０）商店会の総会にて確認の上、協賛の可否を判断することとなる。

（１１）商店会の総会が既に終了しているようであれば、別の手法を検討する必要がある。）

（１２）辻堂地区の事例は歩行を促すためのチェックポイント設置であった。防災においては地域のつながりが重要であるため、当初は防災を前面に出さず、楽しいイベントとして実施し、そこで生まれたつながりを防災イベントに繋げていくのが良い。）

【検討事項（事前復興について）】

（事務局）5月の全体会における藤原委員からの意見を踏まえ、事務局より都市計画課作成の「復興事前準備に関する資料」が共有され、発災前に復旧・復興期の取り組みについて検討・準備しておく重要性について説明がなされた。

（１）市民に対して事前に分かりやすく周知しておく必要がある。

（２）片瀬地区は道路が狭いという課題がある。また、分譲マンションの所有者等に対しては、発災時を見越した建て替えのシミュレーション（見積もり等）を行ってもらふ必要がある。）

（３）現在は減災対策等のソフト面での課題が多い、事前復興の段階まで具体的に手を回すのは現状では困難ではないか。）

（４）まずは協議会委員に事前復興について周知・理解してもらうことが重要であるため情報共有とした。個人としては、自身の居住するマンションの事前復興モデルを作成したいと考えている。

（５）協議会全体で深く取り扱うのは難しいが、共通認識として知っておくことは重要である。）

（６）地区の住民を外に出したいという気持ちがある。防災訓練と言われても誰も参加しないため、懸賞やメリット、エンタメ要素を思い切って取り入れ、親子世代を呼び込む工夫が必要である。

（７）これまで出てきた課題を既存WGに組み込むか、あるいは新規WGを立ち上げるかについて検討する必要がある。）

【決定事項】

会議の総括及び事務局からの提示に基づき、今年度の各課題への取り組みを以下のとおりとすることで異議なく承認された。

ア 過去に取り組んだこと：継続して調査を行う。

イ 防災の動画：広報WGにおいて短い動画作成等を進める。

ウ 公式LINE：公式LINEの見せ方の工夫等を行う。

エ 子ども・若者に参加：ロゲイニングの検討の中に組み込む。

オ 事前復興：本人が取り組んだマンション等での経験内容を、将来的にまちづくり協議会へ還元いただく形とする。

カ 子どもの防災：生活防災WGにて対応していく。

キ 子ども会関連：今年度は検討対象外とする。

（２）令和８・９年度の計画について（スケジュール）

【説明要約】

事務局より、今後の地区集会やイベントの開催時期・内容等、任期中の年間スケジュールについて説明がなされた。事務局としては、地区集会は毎年開催する必要はないと考えている旨が示された。

【質問・意見】

（１）来年（令和９年）２月の地区集会において、ロゲイニングを実施してはどうか。

（２）ロゲイニングの実施にあたっては、まずは鵜沼地区や辻堂地区の先行事例をヒアリングし、十分な準備時間を確保すべきであ

る。今年度無理に実施するのではなく、地区集会自体の開催も含め、次年度（令和 9 年度）末に向けてじっくり準備を進めた方が良いのではないか。

（3）地域住民にとって「ロゲイニング」という言葉は馴染みが薄いのではないか。日本語の分かりやすい名称の方が良い。

（4）「オリエンテーリング」と言い換えた方が住民には伝わりやすいのではないか。）

（5）（補足説明）写真を撮影してポイントを獲得する形式であるためロゲイニングと呼ばれている。

（5）片瀬地区の活性化について、住民が主体的に話し合える場を設けたい。

（事務局）本件は継続課題として扱ってはどうか。

（6）地区集会は令和 9 年度末に開催する方向とし、令和 8 年度末については地区集会の代替として、若い世代が参加しやすく、片瀬地区の活性化に関わる話し合いができるイベント等の場を設ける方向で検討したい。）

（7）ふれあいまつりでの実施は準備が間に合わないため、来年（令和 9 年）の 2 月から 3 月頃の実施が良いのではないか。

（8）鵜沼地区では、ロゲイニングの企画運営を郷土づくり推進会議、魅力発見・発信委員会、実行委員会等が組織的に行っており、片瀬地区においてもまちづくり協議会委員のみで実施するのは困難が予想される。地区集会の代わりに今年度活性化の場を設けることには賛成であり、全体会で少しずつ内容を具体化していく方式が良いと考える。

【決定事項】

- ・ロゲイニング及び地区集会の代替イベントの開催については、継続議題として前向きに検討していく。他地区の事例ヒアリング等が必要な場合は、事務局にてその場をセッティングすることとする。
- ・地区集会の本開催については、令和 9 年度末とする方向で調整する。

【検討事項（まちづくり通信について）】

（事務局）「まちづくり通信」の発行について、従来の「全戸配布」から「地域回覧」へ変更したい旨の提案がなされ、意見を求めた。

（1）地域回覧への変更で問題ない。

（2）全戸配布の方が住民の目に留まりやすいものの、配る側の負担軽減の観点から地域回覧へ移行せざる得ない。他の地域団体も発行する文書について回覧への移行を検討しているので、まちづくり通信についても同様に対応した方がよい。

（3）町内会加入者を対象とした配布であるため、現状でも厳密な意味での全戸配布にはなっていない。

（4）紙での配布を希望する住民への対応はどうか。

（事務局）希望者には市民センターの窓口等で在庫をお渡しする対応とする。

	(5) 片瀬地区デジタル掲示板(KEIJI-BAN)や学校の「すぐー」等の電子ツールが普及しているため、これらを活用して電子化を推進すべき。その上で、スマートフォン等を利用できない高齢者等を取りこぼさないよう、地域回覧を併用する形が良い。 (6) 全戸配布から地域回覧への変更を了承する。情報が必要な住民には市民センターへ足を運んでいただくか、片瀬地区KEIJI-BANへの登録を促したい。 【決定事項】 ・「まちづくり通信」の配布方法については、従来の全戸配布から「地域回覧」へ変更する。 ・併せて、片瀬地区KEIJI-BANの積極的な活用による電子化を推進し、紙媒体の入手を希望する住民へは市民センターでの窓口配布にて対応する。
その他	4 その他 (1) 協力員について 事務局より、別表のとおり協力員名簿が提示され、審議の結果、異議なく承認された。 (2) 当面の日程 事務局より、次回以降の各種会議日程について以下のとおり案内がなされた。 第4回全体会 : 7月16日(木) 18:00～ 片瀬&江の島歴史文化見直しWG : 7月14日(火) 18:00～ 生活防災を考えるWG : 7月 3日(金) 10:00～ 広報WG : 7月 9日(木) 18:00～ 閉 会